

排尿自立支援機器「リリアム」インストラクター養成講習会 要項

1. 排尿自立支援機器「リリアム」インストラクターとは：九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構により養成された、「医療機関や施設においてリリアム α -200を用いて排尿障害患者を的確に把握し、適切な排尿リハケアを体系的に実践できる者」に対する称号。

2. 排尿自立支援機器「リリアム」インストラクター養成の意義：超高齢社会において、高齢者・障害者の尊厳を守り、自立支援を行ううえで主要なテーマの一つに排尿の問題がある。平成28年の診療報酬改定では排尿自立指導料が記載された。これは、急性期治療等においてカテーテル抜去後の排尿自立に向け残尿測定を行い、チームで自立支援を行う行為に一定の評価がなされたものである。しかしながら、排尿障害を有する患者は、カテーテル装着の有無に関わらず多数存在し、在宅復帰の阻害因子の一つでもある。60歳以上の高齢者において尿失禁を有する数は、その15%（600万人）とのデータもある。すなわち、高齢者・障害者の尊厳を守り、住み慣れた地域において、いつまでも生き活きと生活して頂くためには、医療機関や施設において排尿障害患者を的確に把握し、適切な排尿リハケアを体系的に実践する必要がある。この実践ツールとして、リリアム α -200の活用技術の向上と、臨床における排尿リハケアの効率的・効果的な実践に向け関係職種への普及啓発の実践者を養成する。

なお、近年は地域包括ケアシステム構築が唱えられている。これは高齢者・障害者が住み慣れた地域において、いつまでも生き活きと生活できるシステム構築を行政主導で行うものであるが、本講習会はこの地域包括ケアシステム構築にも寄与するものである。

3. 排尿自立支援機器「リリアム」インストラクター養成講習会：排尿の病態生理を理解すると共に、適切な下部尿路機能（排尿機能）の評価手法を習得し、チーム協働で尊厳ある排尿ケアを実践することができる者（排尿自立支援機器「リリアム」インストラクター）を養成するものである。本講習会には、基礎的知識技術の習得を基本としたBasicコースと、より実践力を高めるAdvanceコースを設定している。各コースの内容は以下の通りである。

1) Basicコース：排尿の病態生理、特に高齢者の排尿について理解し、尊厳ある排尿ケアを体系的に実践するための知識と技術の基本を習得する。排尿状態を探る方法の一つに排尿日誌をつけることがあるが、その代替として残尿測定器（リリアム α -200）を積極的に用いて、効率的・効果的に排尿状態を評価する技法を習得する。そして、研修会参加者が主体的に排尿リハケアの実践に向け日常業務を振り返り、業務改善に向けたアイデアを出し合い、明日からの臨床に活かすことができる知力とやる気を醸成する。

2) Advanceコース：Basicコースをもとに、残尿測定器（リリアム α -200）を患者にも使用して、正確なデータの読み取りの知識と技術をUpdateする。そして、グループ討議を通して提示事例に対する評価・分析から対策（服薬管理、リハパンツの適切活用、失禁防止体操、等）の妥当性を検討することで更なる実践力を習得する。

4. プログラム、時間数

研修の種類	プログラム	時間数
Basicコース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：下部尿路機能の諸症状とその正常値 ・ 講義：排尿日誌のつけ方と読み方 ・ 講義：リリアムα-200活用の意義 ・ 講義と実習：リリアムα-200の正しい使い方とデータの解釈 ・ 講義：適切なオムツ・リハビリパンツの活用 ・ グループワーク ① 排尿ケアの現状の把握・課題の整理 ② 適切な排尿ケア実践に必要なデータは ③ 臨床で成果をあげるシステム構築とは <p>* プログラムは予定であり変更の可能性があります</p>	10時間程度 (2日間)
Advanceコース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：リリアムα-200の普及、定着状況について ・ 講義：排尿データ分析と対策 ・ 講義：コスト感覚を持ったオムツ・リハビリパンツの活用 ・ グループワーク ① 事例をとしたデータ収集 ② 事例を通した、排尿データ分析と対策 <p>* プログラムは予定であり変更の可能性があります</p>	15時間程度 (3日間)